

## 第2学年 国語科学習指導案

児童 2年1組 男16名 女17名  
指導者 外 館 洋 文

育てたい主となる能力（基礎・基本）

- ・ 易しい読み物に興味をもち、読むこと。 (読 ア)
- ・ 自分の考えが明確になるように、簡単な組立てを考えること。 (書 ウ)

- 1 単元名 お話，大好き  
教材名 お話がいっぱい  
    こんなお話を考えた

## 2 子どもと単元について

- (1) 子どもたちは、「書くこと」の学習として、「今週のニュース」の学習で、学級の友達に知らせたい出来事をカードに書いて、グループごとにそれをまとめた壁新聞を作るという学習を行った。また、「かんさつ名人になろう」の学習では、視点に沿って観察を進め、分かった事をカードに整理し、観察文にまとめるという学習を行った。さらに、「もうすぐ夏休み」の学習では、上級生にインタビューした事をもとに、記録文を書くという学習も行っている。

これらの学習を通して、経験したことや見付けたことなどを文章を通して伝えようという気持ちや、相手に伝えるために詳しく観察したり身の回りのことに目を向けたりする意識が深まり、意欲的に書くようになる子どもが増えてきている。

また、日常的には、日記を週に1～2回のペースで家庭学習に取り入れたり、教科書教材の視写に取り組んだりしている。身の回りのことに目を向けて題材を見付けたり、長い文章を書く活動を取り入れ、書くことに慣れてきたりしたことにより、文章を書く楽しさに気付く子どもが増えてきている。

- (2) 本単元「お話，大好き」は、昔話や童話などの易しい読み物に興味をもち、想像しながら読む楽しさに十分にふれることと、「はじめ・中・おわり」という簡単な組立てを考えて想像したお話を書くことをねらいとしている。

第1教材「お話がいっぱい」は、絵本を中心に7冊の本が、題名やキーワードになるような言葉のワンフレーズ、挿し絵などで紹介されている。この紹介のしかたは、子どもたちの好奇心・興味・関心を引き出すのに効果的であると考え。7つの絵は、それぞれの個性を引き立て合っており、ワンフレーズの言葉も、それぞれなぞめいておもしろい。7冊の中から子どもたちが選んだり、それを教師が読み聞かせたりすることで、お話の世界にたっぴりと浸ることができる教材である。

第2教材「こんなお話を考えた」は、3枚の絵を手がかりに想像を膨らませ、話の組立てを考えながら書くことで、想像を広げ楽しみながら書くことのできる教材である。教材では3枚の絵をあらかじめ提示しているが、今回は前教材の「お話がいっぱい」を受けて、子どもたちが読んできた本の続きやシリーズを作るという言語活動を行うことにした。まず、自分がどのお話の続きを作るのか選び、お話の挿し絵を作ることを通して作品に対するイメージを膨らませる。次に、挿し絵の順序を考えたり、登場人物の会話や行動をカードに書いたりすることで、「はじめ・中・おわり」の組立てを意識してお話を作っていく。その際、主述の関係や句読点、会話文の書き方などの言語事項についても関連して学習していく。そして、でき上がったお話に前書きや後書きなどを付け加えて絵本を完成し、絵本展示コーナーに展示する。最後に、完成した絵本をお互いに読み合い、感想交流を行う。

このように、「はじめ・中・おわり」という組立てで文章を書くことを通して、文章には始めと終わりがあることを意識できるようになり、自分の考えをまとめたり文章の構成を考えたりすることができるようにもなると考える。さらに、お話作りの材料を子どもたちが自分で選択することは、自分の伝えたい事をはっきりさせることにつながり、書くことに対する意欲を伸ばすだけでなく、書くことを通して読書に親しむ態度の育成につながるものと考え。

- (3) 本単元では、基礎・基本の定着を図るために、絵本などの易しい読み物に興味をもち、自分から探して読むことと、想像することを楽しみ、面白さを友達に紹介するために絵本の文章を書くという領

域の特性を生かした言語活動を行う。

- ・場面の様子について想像を広げながら，お話を聞いたり読んだりする。 (「交流する」段階)
- ・挿し絵の順序を考え，登場人物の会話や行動をカードに書く。 (「作る」段階)
- ・カードをもとに，文章を書く。 (「作る」段階)
- ・出来上がった絵本を，絵本展示コーナーに展示し，交流する。 (「広げる」段階)

単元の学習を進めるに当たっては，下記の5つの言語意識を明確にする。

- 相手意識 学級の友達に
- 目的意識 自分の作った絵本を読んでもらうために
- 場面・状況意識 想像を広げながら絵本の文章を書く。
- 方法意識 簡単な組立てを考えて，お話を書く。
- 評価意識 絵本を読んだ友達の書いた一言感想を読んで自己評価する。

ここで身に付けた「自分の考えが明確になるように，簡単な組立てを考える力」は，国語科・他教科・他領域の学習に生かすことができる。例えば算数科の自分の考えをまとめる段階や，生活科の学習のまとめなどである。また，日常活動としては，日記や行事作文などで自分の伝えたいことをはっきりさせ，まとまりのある文章に表すことにも生かすことができる。

### 3 学習指導目標及び評価規準

|                     | 学 習 指 導 目 標  | 評 価 規 準  |
|---------------------|--|--|
| 国語への<br>関心・意欲・態度    | 易しい読み物に興味をもち，探して読もうとする。<br>自分の考えが明確になるように，簡単な組立てを考えて書こうとする。                              | ・話を楽しんだり，聞いたり読んだりしている。<br>・絵をもとに想像を広げて話を考え，自分の絵本を作ろうとしている。                       |
| 書く能力                | 簡単な話の組立てを考え，想像を膨らませて文章を書くことができる。<br>(書 ウ)<br>文章を読み返し，間違いなどに注意して書くことができる。<br>(書 オ)        | ・作品例の表現に学びながら，絵の順番を決めて，話がつながるように考えて書いている。<br>・書いた文章を読み返し，言葉や文の続き方の間違いに注意して書いている。 |
| 読む能力                | 場面の様子について，想像を広げながら読み，感想をもつことができる。<br>(読 ア)   | ・場面の様子を想像しながら聞いたり読んだりし，感想をもっている。   |
| 言語についての<br>知識・理解・技能 | 文の中における主語と述語の関係に注意して読むことができる。(言 エ(ア))<br>句読点の打ち方やかぎの使い方を理解し，文の中で正しく使うことができる。<br>(言 ウ(イ)) | ・主語と述語の関係に注意してお話を読んでいる。<br>・お話作りの中で，句読点やかぎなどを正しく使っている。                           |

### 4 学習指導計画及び評価規準

お話がいっぱい

3時間(読3)

| 過程     | 学習内容と主な学習活動                                  | 評 価 規 準 <評価方法>                          |   |                           |
|--------|--|---|---|---------------------------|
|        |  | 国語への<br>関心・意欲・態度                        | 読む能力                                    | 言語についての<br>知識・理解・技能       |
| 見<br>通 | 単元のねらいを知り，見通しをもつこと<br>・読み聞かせを聞いた後で，自分で読みたい本や | 読み聞かせを聞き，意欲的に感想を話したり，学習の見通しをとらえようとしたりして | 昔話や童話などの読み聞かせを聞き，次に自分が読みたい本や続きを作りた本について | 漢字や語句について理解している。<br><ノート> |

|      |   |   |  |                                |
|------|---|---|--|--------------------------------|
| す    | 続きを作りたい本を見付けることを知る。<br>・教師の読み聞かせを聞く。<br>・漢字や語句の学習をする。 1時                | いる。 <態度・発言>   | 考えている。 <感想>                                  |                                |
| 交流する | 自分で読みたい昔話や童話を探して読むこと<br>・場面の様子について想像を広げながら読む。 1時                        | いろいろな昔話や童話を読もうとしている。 <態度>                               | 教科書で紹介されているいろいろな昔話や童話を選んで読んでいる。 <読書の傾向>      | 主語と述語の関係に注意して読んでいる。 <カード>      |
| 広げる  | 気に入った昔話や童話を友達に紹介すること<br>・読んだ本の、おもしろかったところや感想を紹介カードに書く。<br>・カードを紹介する。 1時 | 紹介カードを通じて、自分の読んだ昔話や童話のおもしろさを友達に伝える工夫をしようとしている。 <カード・態度> | 昔話や童話のおもしろさが友達に伝わるように工夫して、紹介カードを書いている。 <カード> | 主語と述語の関係に注意して、カードを読んでいる。 <カード> |

こんなお話を考えた

13時間(書13)

| 過程  | 学習内容と主な学習活動   | 評価規準 <評価方法>   |   |                                |
|-----|---|---|---|--------------------------------|
|     |   | 国語への関心・意欲・態度  | 書く能力  | 言語についての知識・理解・技能                |
| 見通す | 自分が続きを書く本を決めること<br>・お気に入りの本を思い浮かべ、その本の続きやシリーズのお話を作ることをつかむ。 1時 | これまでに読んできた絵本の中から、自分が続きを書きたい本やシリーズを見付けようとしている。 <発言・態度> | 続きやシリーズのお話を作ることを理解して、いろいろな本に触れながら選んでいる。 <発表>  |                                |
| 学ぶ  | 教材文の表現の工夫を理解すること<br>・教材文を読み、場面の組立てを学ぶ。<br>・工夫してあるところをまとめる。 1時 | 教材文の表現の工夫を探そうとしている。 <態度>                              | 教材文から、3枚の挿し絵を使い「はじめ・中・おわり」の構成でお話を作っていることや、「いつ・どこで・まわりの様子・会話文」などの表現の工夫を見付けている。 <態度・発表> | 句読点やかぎの使い方を理解している。 <発表>        |
| 作る  | お話の登場人物や場を設定すること<br>・自分が決めたお話の続きについて、登場人物などを考える。 1時           | お話の登場人物について、進んで考えようとしている。 <態度・カード>                    | 自分が作ろうとするお話の登場人物や場面の様子を、想像しながら書いている。 <カード>  | 主語と述語の関係に気を付けながら文を書いている。 <カード> |
|     | 挿し絵を3枚作りながらイメージを広げること<br>・お話の構想を考えながら、挿し絵を作る。 2時              | 絵の中にお話作りに関連することを描いたりすることで、想像を広げようとしている。 <挿し絵>         | 「だれが・何をしているか」や、場面の様子を考えながら、挿し絵を作っている。 <態度・挿し絵>  |                                |

|        |  |   |   |   |
|--------|--|---|---|---|
| 作<br>る | <p>3枚の挿し絵を見比べ、お話の順序を決定し、会話や行動を考えると</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の会話や行動を「はじめ・中・おわり」の3つに分けてカードに書く。</li> </ul> <p>本時 3時</p> | <p>「はじめ・中・おわり」を意識し、3枚の絵を使う順序を決め、想像を広げながら登場人物の会話や行動を考えようとしている。</p> <p>&lt;態度・カード&gt;</p> | <p>3枚の挿し絵をもとに登場人物の会話や行動を想像し、考えたことを「はじめ・中・おわり」それぞれの場面に書いています。</p> <p>&lt;カード&gt;</p> | <p>主語と述語の関係や、かぎの使い方に気を付けながら、カードを書いている。</p> <p>&lt;カード&gt;</p>                 |
|        | <p>「はじめ・中・おわり」の組立てで文章を書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話文をもとに地の文を付け加えながら、はじめ・中・おわりを書く。</li> </ul> <p>4・5・6時</p>            | <p>お話の「はじめ」「中」「おわり」を意識して楽しみながらお話作りをしようとしている。</p> <p>&lt;ワークシート&gt;</p>                  | <p>教材文から学んだ表現の工夫に気を付けながら、お話の文章を書いている。</p> <p>&lt;ワークシート&gt;</p>                     | <p>主語と述語の関係を考えたり、句読点の打ち方やかぎの使い方に気を付けたりしながら、話を書いている。</p> <p>&lt;ワークシート&gt;</p> |
|        | <p>レイアウトを考え清書すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レイアウトを考え、丁寧に清書する。</li> </ul> <p>7・8時</p>                                      | <p>絵と文とのかかわりを考えながら、丁寧に清書しようとしている。</p> <p>&lt;ワークシート&gt;</p>                             | <p>絵と文の位置を考えながら、丁寧に清書している。</p> <p>&lt;ワークシート&gt;</p>                                | <p>句読点やかぎの使い方に気を付けながら文を書いている。</p> <p>&lt;ワークシート&gt;</p>                       |
|        | <p>後書き、書いた人の紹介、表紙を書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材例を参考にしながら後書き、書いた人の紹介、表紙を書く。</li> </ul> <p>9時</p>                       | <p>教材例を参考にしながら、後書きや書いた人の紹介、表紙を書こうとしている。</p> <p>&lt;発言・態度&gt;</p>                        | <p>教材例を参考にしたり、自分が考えた内容を付け足したりしながら、後書きや書いた人の紹介を書いている。</p> <p>&lt;表紙・後書き&gt;</p>      | <p>句読点やかぎの使い方に気を付けながら文を書いている。</p> <p>&lt;表紙・後書き&gt;</p>                       |
|        | <p>表紙をつけて絵本の装丁を整えること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の、製本作業をする。</li> </ul> <p>10時</p>   | <p>絵本の製作を楽しみながら製本作業をしようとしている。&lt;態度&gt;</p>   | <p>順序に気を付けたり、一言感想をもらうページを挿入したりして丁寧に製本している。</p> <p>&lt;お話の本&gt;</p>                  | <p>句読点やかぎの使い方に気を付けながら文を書いている。</p> <p>&lt;お話の本&gt;</p>                         |
|        | <p>作品を発表し合い、表現のよさを見付けること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を読み合い、感想カードを書く。</li> <li>振り返りをする。</li> </ul> <p>1時</p>               | <p>お互いの作品を読み合い、友達の作品のよさを交流しようとしている。</p> <p>&lt;態度・表情&gt;</p>                            | <p>友達の作品のよかったところを一言感想のページに書いている。</p> <p>&lt;感想&gt;</p>                              |   |

5 本時の指導

(1) ねらい

「はじめ・中・おわり」を意識し、3枚の絵を使う順序を決め、想像を広げながら登場人物の会話や行動を考えようとしている。

3枚の挿し絵をもとに登場人物の会話や行動を想像し、考えたことを「はじめ・中・おわり」それぞれの場面に書くことができる。

(2) 展開

|         |  |    |  |
|---------|--|----|--|
| 前時までの学習 | <p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージを広げながら、挿し絵を3枚作ること。</li> </ul> <p>言語活動</p> <p>お話の構想を考えながら、どのように作っていくのか考える。</p> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの絵を描くことで、構想を練ることができるようにする。</li> </ul>  |    |  |
| 過程      | 学習内容・学習活動  | 形態 | <p>・支援 「主発問」 評価 評価方法</p>   |
| 課題をつかむ  | <p>1 前時の学習を想起すること (2分)</p> <p>2 本時の学習課題を把握すること (2分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>絵を「はじめ・中・おわり」にならべて、お話メモを作ろう。</p> </div>  | 全  | <p>・前時の学習を振り返り、自分が描いた挿し絵を確かめることで、お話を作っていくことへの意欲をもつことができるようにする。</p> <p>・お話の文章を書く前に、文章は「はじめ・中・おわり」の構成になっていることや、登場人物の会話をカードに整理することを確認し、本時の課題に対する必要感をもつことができるようにする。</p> <p>学習課題を把握し、意欲をもって本時の学習に取り組もうとしているか。</p> <p style="text-align: right;">表情</p>  |
|         | <p>3 お話メモの作り方を確かめること (8分)</p> <p>お話メモの書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○さし絵をならべる</li> <li>○したことを書く             <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語を書こう</li> </ul> </li> <li>○会話を書く             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「 」をつけよう</li> </ul> </li> </ul> | 全  | <p>「お話メモの作り方を確かめましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師作成のモデルカードを提示しながら、学習活動に対するイメージをもつことができるようにする。</li> <li>・まず、挿し絵を「はじめ」「中」「おわり」の順序に並べる事を確認する。</li> <li>・次に、それぞれの挿し絵を見て、登場人物が何をしているのかを主述に気を付けて1文で書くことを確認する。</li> <li>・最後に、登場人物の会話を「 」を付けて書いていくことを確認する。</li> <li>・早く書き終わった子は、会話のやり取りを増やしたり、会話の順序を考えたりすることを確認する。</li> </ul>  |
|         | <p>4 お話メモを作ること (20分)</p>   | 個  | <p>「書き方に気を付けて、お話メモを書きましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿し絵を「はじめ・中・おわり」に分けて、お話メモに貼る。</li> <li>・自分が想像した登場人物の会話や行動を、「はじめ・中・おわり」それぞれの場面に書くことができるように助言する。</li> </ul> <div style="border: 3px double black; padding: 10px;"> <p>A 3枚の挿し絵をもとに登場人物の会話や行動を想像し、考えたことを「はじめ・中・おわり」それぞれの場面に書く際、順番を考えながら会話のやり取りを2回以上書いている。</p> <p>B 3枚の挿し絵をもとに登場人物の会話や行動を想像し、考えたことを「はじめ・中・おわり」それぞれの場面に書いている。</p> </div> |

|                                  |   |                   |  |
|----------------------------------|---|-------------------|--|
|                                  | <p>5 お話メモを読み合い、よさを学び合うこと（10分）</p> <p>（1）友達のメモを読み合い、メモのよいところを交流する。</p> <p>（2）自分のメモの見直しをする。</p>   | <p>全</p> <p>個</p> | <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿し絵を「はじめ・中・おわり」の順序に並べられない子には、「最初は？それから？最後は？」と問いかけ、一緒に絵を並び替えながら、構成を見付けることができるようにする。</li> <li>登場人物の会話が考えられない子には、教師が役割演技の相手をすることで、具体的な会話を想像することができるようにする。</li> <li>登場人物の行動が考えられない子には、挿し絵を手がかりに「誰が何をしているのかな」と尋ねることで、主述に気を付けながら行動を書くことができるようにする。</li> <li>時間内で3つの場面すべてに会話や行動を書けない子には、主人公のことだけでも書くように助言し、他の登場人物についてはお話を書く段階で考えることができるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">お話メモ</p> <p>「友達のメモのよいところを見付けましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達のメモを読み合うことにより、自分のメモも振り返ることができるようにする。</li> <li>会話や行動を「はじめ・中・おわり」の3つの場面全てに書いていることや、「 」を付けていること、二人以上のやり取りになるように書いていること、主語と述語を落とさずに行動を書いていることなどを見付け、話し合うことで、自分のメモを見直そうとする意欲を高めることができるようにする。</li> </ul> <p>「自分のメモを見直しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話に「 」が付いているかを見直し、付いていない場合は自分で付ける。主語と述語がどちらか落ちている場合も、自分で補う。その他、自分が意識できたことを成果として確認する。</li> </ul> |
| <p>ま<br/>と<br/>め<br/>る</p>       | <p>6 学習のまとめをすること（2分）</p> <p>（1）学習について振り返り、自己評価をする。</p> <p>7 次時の学習の見通しをもつこと（1分）</p>  | <p>個</p> <p>全</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習を振り返り、自分のがんばりや学習の成果を実感し、成就感をもつことができるようにするとともに、次時の学習の意欲へとつなげることができるようにする。</li> </ul> <p>「はじめ・中・おわり」を意識し、3枚の絵を使う順序を決め、想像を広げながら登場人物の会話や行動を考えようとしたか。</p> <p style="text-align: right;">発言・カード</p> <p>3枚の挿し絵をもとに登場人物の会話や行動を想像し、考えたことを「はじめ・中・おわり」それぞれの場面に書くことができたか。</p> <p style="text-align: right;">カード</p>  |
| <p>次<br/>時<br/>の<br/>学<br/>習</p> | <p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめ・中・おわり」の組立てで文章を書くこと。</li> </ul> <p>言語活動</p> <p>会話文に地の文を付け加えながら、はじめ・中・おわりを書く。</p> <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめ」「中」「おわり」と小見出しをつけながら、考えたことをどんどん書けるようにワークシートを用意する。</li> </ul> |                   |  |